

AGENDA

淡路夢舞台国際会議場ニューズレター

2006

新年号

VOL.23

平成18年1月発行
兵庫県立淡路夢舞台国際会議場
兵庫県淡路市夢舞台1番地
電話 (0799) 74-1020
FAX (0799) 74-1021
<http://www.yumebutai.org>
otoiawase@yumebutai.org



水仙に

春待つ心

定まりぬ

虚子



その匂ひ

桃より白し

水仙花

芭蕉

淡路夢舞台国際会議場

国際会議開催件数

2004年

全国第5位に

開催件数過去最高!

神戸空港

2月16日開港予定

淡路夢舞台への
アクセスが
ますます便利に

写真上一 水仙と沼島の島影

写真下一 灘黒岩水仙郷

撮影 松林 眞弘

場所 南あわじ市

新年のご挨拶

「美しい島の中の会議場」から新年のお慶びを申し上げます。
2000年3月の淡路花博と同時に開業して以来、全国から世界から多くのお客様をお迎えできましたことは、職員一同の喜びであります。

山の緑と海の青が見事に調和した「夢の舞台」に近づきつつあります。都市型の国際会議場とは一線を画した、質の高い中規模の会議場を目指す私たちの気持ちは実現に向かっています。

6年間で2200件に及ぶ会議を経験させていただきました。また、2004年の国際会議統計では、国際会議の開催件数で全国第5位の地位を頂いています。会議を誘致する職員、会議を支援するコンファレンスコーディネーターも経験を積み、どのような会議でもご満足いただけるサービスを提供できるまでに成長しています。

隣接する「ウェスティンホテル淡路」もコンファレンスホテルとして、またリゾートホテルとして最高級の評価をいただいています。淡路夢舞台温室や国営明石海峡公園もますます見所が充実してきています。

今後ともお客様にご満足いただける会議場であるために、職員一同懸命の努力をいたしております。

新年にあたり皆様のご健勝をお祈りするとともに、一層のご愛顧をお願い申し上げます。



兵庫県立淡路夢舞台国際会議場
館長 高野 幸二郎

2004年
国際会議開催件数 全国第5位
開業以来最高の開催件数！

国際観光振興機構(JNTO)が取りまとめた2004年国際会議統計で、淡路夢舞台国際会議場が、開業以来最高である開催件数51件の実績を残し、国際会議場の中で第5位になりました。2000年の開催件数が37件で全国第8位、2001年が36件で8位、2002年が39件で7位、2003年が49件で4位と、5年連続で全国上位を維持しております。ご利用頂きました関係者の皆様に改めてお礼申し上げます。

大都市コンベンションセンターとはひと味違った中規模の「リゾート&コンファレンスセンター」として、豊かな自然の中で質の高い会議環境をご提供できるよう、スタッフ一同日々努力を重ねて参りましたが、大都市の国際会議場が名を連ねる中、上位を維持できることは、大勢の皆様の高い評価をいただいた賜物と喜んでおります。

これからも、ご利用いただく皆様に快適な会議空間をご提供できるよう努めて参りますので、さらなるご愛顧をお願い申し上げます。



開催に寄せて

日独放射線医学交流計画
第13回ワークショップ

24-26 Mar. 2006

本ワークショップは、1983年に第一回を東京で開催して以来、ほぼ二年に一度、ドイツと日本で交互に開催しています。学会参加者は150名前後ですが、家族で出席される方も多く、総勢200名程度の規模になります。本会は放射線医学の父であるレントゲン博士の母国ドイツとの交流ということが目的であるため、2年おきのワークショップだけではなく、交換留学を含めて幅広い交流を進めています。

日本はドイツの放射線医学のシステムを導入しましたが、現在はかなり異なっています。お互いの国のリーダー達が集まる本会において、意見交流することは大変役立っています。また、学術だけではなく、一週間近く寝食を共にすることで、お互いの文化を理解し、信頼感が生まれてきます。日本で開催する時は、茶道や俳句を披露し、温泉に入って文字通り裸の付き合いをすることもありました。

今回は、日本発祥の地と言われる淡路で、日本建築を代表する安藤忠雄氏の手になる建物を見てもらい、美しい瀬戸内を堪能してもらおうと思っています。また淡路の伝統芸能である浄瑠璃を楽しんでもらう一方、地震記念館をご案内してサイエンティスト達に地震のエネルギーと自然の偉大な力を知っていただくつもりにしています。夢舞台の関係者の方々の援助により、本会が成功裏に終わることを、Chairmanの名古屋大学石垣教授と共に願っております。



Chairman
名古屋大学教授
石垣 武男



Co-chairman
神戸大学教授
杉村 和朗

開催を終えて

第8回国際糖尿病免疫学会(IDS-8)

6-9 Oct. 2005



組織委員会代表
大阪医科大学
第一内科教授
花房 俊昭

1型糖尿病の成因および治療に関する国際学会「8th Meeting of the Immunology of Diabetes Society (IDS-8、第8回国際糖尿病免疫学会)」のお世話をさせていただきました。参加者は233名で、その約7割は海外からの参加者でした。3日半にわたって参加者が一つの会場に缶詰めになってディスカッションするのが本学会の伝統的なスタイルです。参加者の興味の対象が絞られた学会ですので、全期間を通じて会場のメインホールはほぼ満員の盛況で、講演やポスター発表の場で活発な討議が行われました。

参加者の方々からいろいろ賛辞をいただいた中で、ホテルと会議場が自然の中で一体

となった建築、および充実した会議設備について、多くの方々から絶賛していただきました。植物園でのリラックスしたウェルカムパーティー、ホテルの美味しいお料理をいただいたバンケットも大変好評でした。会議終了後1ヶ月経った今でも、あの会は素晴らしかったと世界各国の方々からメールをいただき、主催者代表としてこれ以上の喜びはありません。これも岡本様をはじめ会議場のスタッフの方々、ならびにホテルスタッフの方々の心温まるおもてなしのお陰と心より感謝申し上げます。



2005年情報理論的セキュリティの理論と実際
に関する情報理論ワークショップ(ITW '05 Japan)

16-19 Oct. 2005



東京大学
生産技術研究所
教授
今井 秀樹

2005年10月16日(日)から19日(水)までの4日間、淡路夢舞台国際会議場において上記国際会議を開催しました。これは、米国電気電子学会(IEEE)情報理論サイエティが、IACR(国際暗号研究学会)の協力および産業技術総合研究所(AIST)、情報処理推進機構(IPA)、電子情報通信学会(IEICE)、情報理論とその応用学会(SITA)の協賛を得て開催したものです。

19ヶ国から85名の参加者がありましたが、その中にはチューリング賞の受賞者であるハーバード大学マイケル・ラビン教授などこの分野の最も著名な研究者が多く含まれていました。

International Interdisciplinary Conference on Vitamins, Coenzymes, and Biofactors 2005 Awaji, Japan
国際ビタミン・補酵素・バイオフィクター会議

6-11 Nov. 2005



組織委員長
大阪医科大学
名誉教授
鏡山 博行

世界的にビタミンやサプリメントについての正しい知識や使い方に関心が深まっている折から、その作用機構、有用性や有害性などを科学的に明らかにする事を目的に、上記国際会議を開催した。International Symposium on Vitamin B6, PQQ, Carbonyl Catalysis and Quinoprotein とInternational Congress on Vitamins and Related Biofactors という、各々歴史を持つ二つの国際会議を併催するという初めての試みで、いささか不安もあったが、日本ビタミン学会の共催、国際生化学・分子生物学連合シンポジウムNo.344としての公認を得、物心両面から支援を得られたこともあって、

成功裏に終わることができた。17カ国より220名(うち外国人50名)の参加があり、医学、薬学、農学、栄養学、化学など多様な分野の研究者が一堂に会して議論を展開し、実り多い会であった。国際会議場とホテルを結ぶ廊下に100枚余のポスターを会期中掲示し、参加者が毎日否応無く目にすることで、ポスター発表が脇役にならなかったのも好評であった。夜のポスターセッションでは照明が消される9時を過ぎるまで議論が終わらないグループがいくつも見られた。期間中好天に恵まれ、環境、運営にも申し分なく、「素晴らしい」「次回が大変」などの声をいただくことができた。無理な相談に乗っていただき、数々の適切な助言をいただいた夢舞台のスタッフの皆様に厚く御礼申し上げます。



9月～12月に
開催された
主な会議



第5回産業用リニアドライブ
国際シンポジウム(9月)



細胞核機能の分子スイッチRanと
細胞周期(10月)



第2回韓国データベース
ワークショップ(10月)



第29回全国育樹祭
育林技術交流集会(10月)



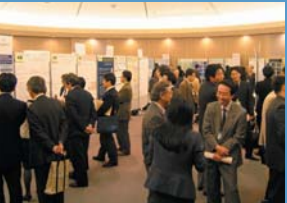
「タンパク質の一生」国際会議
(10月)



第5回国際3Rシンポジウム
(11月)



平成17年度あしたのくらし・ふるさと
づくり全国フォーラムin兵庫(11月)



第4回日本肝臓学会シングル
トピックカンファレンス(12月)



COE/JEPA Joint International
Conference(12月)

神戸空港一まもなく開港

淡路夢舞台へのアクセスがさらに便利に

2006年2月16日、神戸空港が開港されます。JALグループ、ANA、スカイマークエアラインズの3社が、羽田、鹿児島、那覇、新千歳、仙台、新潟、熊本の国内7路線27便の就航を予定しています。神戸空港から淡路夢舞台へのアクセスは、ポートライナーで三宮まで約16分、三宮で直行バスに乗り換え約50分。関西国際空港、大阪国際空港（伊丹）を利用の場合より、より早く、より近くなります。また、神戸空港発、新神戸・三宮経由、淡路夢舞台直行バスの運行も予定されております。

神戸空港ホームページ

<http://www.city.kobe.jp/airport/>



世界から、日本から、快適アクセス

明石海峡大橋を經由し、車で大阪から60分、神戸から30分（淡路I.C.、東浦I.C.から車で5分）

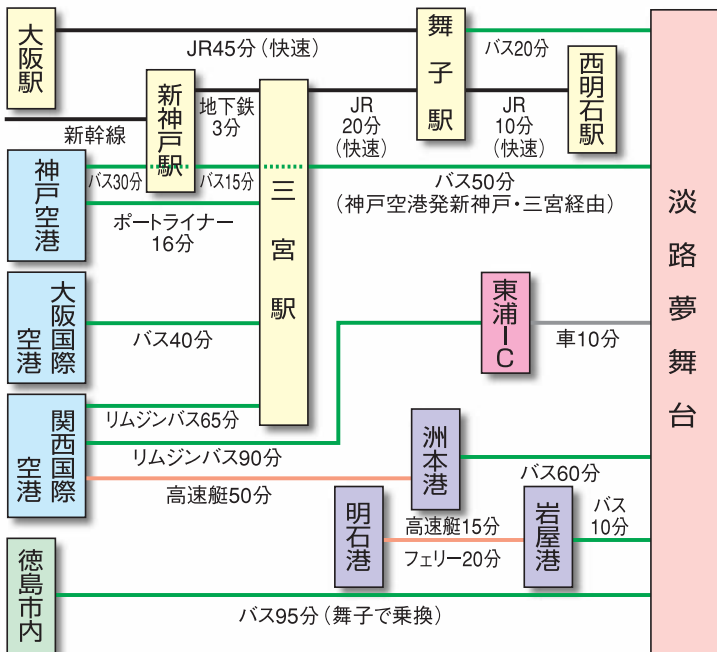
交通アクセス



運賃、時刻表等、詳細はHPをご覧ください。

▶ <http://www.yumebutai.org>

公共交通機関



第15回 国際ミーティング・エキスポに出展

淡路夢舞台国際会議場は、12月7日～8日の2日間、東京国際フォーラムで開催された「第15回国際ミーティング・エキスポ(IME2005)」に出展しました。IMEは日本で唯一のコンベンション・トレードショーで、65の団体・企業が出展。約2,000人もの来場者がありました。今年の夢舞台ブースは、装い新たに淡路人形浄瑠璃・国生み神話をモチーフにした装飾で淡路島の魅力を来場者に印象付け、自然美あふれる環境と充実した会議・宿泊施設での「リゾート&カンファレンス」を大いにアピールしました。



ご利用料金(税込)

会議室名称	面積(m ²)	利用料金(円)		
		9時～12時	13時～17時	9時～17時
メインホール	580	90,000	120,000	209,000
イベントホール	481	75,000	100,000	174,000
アンフィシアター	275	45,000	60,000	105,000
ホール	A	127	22,000	30,000
	B	258	44,000	58,000
会議室	311	179	15,000	20,000
	301	173	15,000	20,000
	405	91	8,000	11,000
茶室	A	90	18,000	24,000
	B	10	3,000	5,000
合計(全館利用)		407,000	539,000	927,000

※他に会議室・討議室・控室等18室を4,000円(9～17時)からご用意しております。

ご利用にお得な制度

▶(財)兵庫県国際交流協会の国際会議開催助成金

●以下の要件を満たす国際会議に、500万円を限度として開催総経費の10%以内を助成します。

- ①開催日程3日以上
- ②参加国は日本を含め5カ国以上
- ③国外参加者の比率が20%以上

●その他の国際会議には、200万円を限度に開催総経費の5%以内を助成します。

※助成金には年度枠がありますので、枠を超えると交付できない場合もあります。

※この他、一定の条件を満たした会議等について、無利息の貸付金制度もあります。

▶(財)中内カコンベンション振興財団の助成金

兵庫県内で開催される国際・国内会議や、それに付随する展示会・見本市への助成金の交付と開催準備金の貸付を行っています。上記、助成金・貸付金制度との併用も可。

詳細は同財団へ。TEL 078-303-8111

▶「ウェスティンホテル淡路」ご利用時のコンファレンスレートについて

国際会議場での会議を伴う宿泊(15名様以上)にご利用いただける同レートにより、「ウェスティンホテル淡路」の宿泊料が最大で通常の50%を超える割引となります。

(祝祭日、特定日を除く日曜日から金曜日に適用)

あ と が き

今号の表紙を飾っております、淡路島南部、灘海岸沿いの沼島を望む絶景地にある水仙の名所「瀧黒岩水仙郷」は千葉県の房州海岸、福井県の越前海岸と並び水仙の三大群生地と言われています。島内最高峰の論鶴羽(ゆずるは)山(606m)の尾根が海になだれ落ちるように迫るあたり、平均斜度45度の急斜面7万㎡に白や黄色の水仙約500万本が一面に咲き誇ります。頂上の展望台から見る冬の澄んだ海と、一面の水仙の花畑のコントラストは感動的。周辺には甘美な香りが漂います。斜面いっぱい咲き乱れていても、他の花とは違ってどこか清楚な感じがします。見頃は1月～2月中旬。雪の中でも春の訪れを告げるということから別名「雪中花(せっちゅうか)」とも呼ばれています。ピンと伸びた茎に白い花。その姿が「仙人」の雰囲気を感じさせることが名前の由来だそうです。

私はいつも水仙を見ると、誰よりもおしゃべり好きな花が、暖かい季節を待ち、まだ土の中に眠る他の種子たちに、春が来たことを告げたくて騒ぎたてているように思っています。仙人の趣を持つ花には大変失礼な話なのですが、

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。(爲後順子)